



生活習慣病管理支援システム **V4.0**

据え付け説明書

目 次

1. 概要	1
1.1. 本書の適用範囲	1
1.2. 本書が想定している作業者	1
1.3. 新健康管理システムの概要	2
2. 概要	3
2.1. インストールの準備	3
2.2. HASP プロテクト解除キー	3
2.3. インストールの流れ	4
2.4. インストールに際しての注意事項	4
3. 新規インストール	5
3.1. HASPドライバのインストール ()	5
3.2. 生活習慣病管理支援システムソフトのインストール ()	6
3.3. FTDIドライバのインストール (PS-501 使用時)	8
3.4. 動作環境の設定 ()	11
3.5. 動作確認 ()	12
3.6. 動作環境の設定値をメモする ()	12
4. 移行インストール	13
4.1. 以前の生活習慣病管理支援システムのデータベースを準備する (A .)	13
4.2. データベースを生活習慣病管理支援システムV 4 . 3に移行する (C .)	15
5. 起動と終了	18
5.1. 起動方法	18
5.2. 終了方法	18
付録 1 (動作環境と動作の確認)	19
1.1. バージョンアップ前後の動作環境設定値のチェック手順	19
1.2. 設定値メモ用紙, チェックリスト, 問い合わせ票	19
付録 2 : 生活習慣病管理支援システムの削除方法	20
用紙 1 生活習慣病管理支援システムの設定値メモ用紙	22
用紙 2 バージョンアップ前の確認 (チェックリスト)	23
用紙 3 新規インストール後の確認 (チェックリスト)	24
用紙 4 バージョンアップ後の確認 (チェックリスト)	25
用紙 5 トラブル問い合わせ票	26

本書をお読みになるにあたっての注意事項

本文中に下図に示す絵文字（アイコン）が記載されている箇所があります。それぞれの絵文字が意味するところは下表の通りですので、その指示に従ってください。

絵文字	意味
	この表示がある箇所の指示に従わないと、 操作者あるいは被測定者に重大な障害や死につながる危険が及ぶことがあり得ることを示します。 必ず指示に従って操作を行ってください。なお、本書にはこれに該当する項目はありません。
	この表示がある箇所の指示に従わないと、操作者あるいは被測定者に 危険が及ぶことがあり得ることを示します。 また、 システムの維持管理が困難な状態になることを示します。 必ず指示に従って操作を行ってください。
	この表示がある箇所の指示に従わないと、 何らかの問題がシステムに発生する可能性があることを示します。 なるべく指示に従って操作を行ってください。
	この表示がある箇所は システムを理解する上で重要な事項が書かれていることを示します。
	この表示がある箇所はシステムを操作する上で、 知っているのと役に立つ事項が書かれていることを示します。

商標

- ・以下のものは株式会社パラマ・テックの商標です。
FT-101 , FT-1100 , GP-303S , PS-501 , BF-101 および**生活習慣病管理支援システム**
- ・以下のものは全て Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
Windows , Windows 2000 , Windows XP , Windows Vista , Internet Explore
- ・Pentium は Intel Corporation の米国及びその他の国での商標または登録商標です。

©Copyright Parama-tech CO., LTD. 1999-2010. All rights reserved.

1.概要

1.1. 本書の適用範囲

生活習慣病管理支援システム ソフトウェア据え付けマニュアル（以下、本書）は生活習慣病管理支援システムのソフトウェアを据え付けるための情報を記載したもので、下記の場合を想定しています。

生活習慣病管理支援システムV4.3.0の新規の据え付け



本書では新しい『生活習慣病管理支援システム』のバージョン番号を“V4.3.0”と称しています。しかしながら、機能および性能改善のため予告無しにバージョン番号を増やす場合があります。例えば、“V4.3.1”等です。基本的には据え付け方法は全く同じです。

1.2. 本書が想定している作業者

本書はパソコン（特に、Windows7）に関して初級程度の知識を有している方を対象に書かれております。従って、それ以外の方は問題が発生するおそれがありますので、このソフトウェアの据え付けを行わないでください。



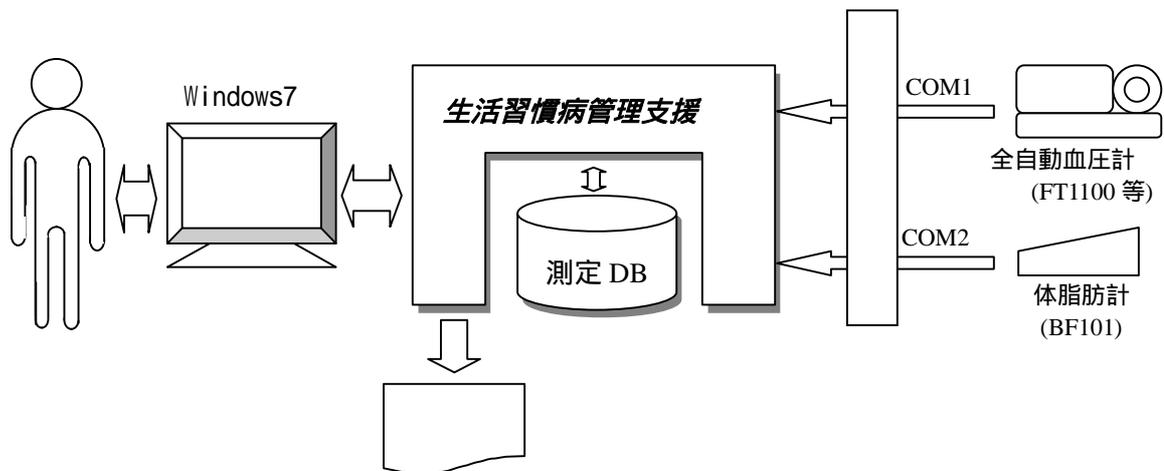
本書の指示に従って据え付けを行ってください。指示に従わない据え付けを行った場合には、パソコンに既に蓄積されているデータが破壊される可能性があります。十分にご注意ください。

1.3. 新健康管理システムの概要

本システムはパソコンにつながれた全自動血圧計 FT -101, FT -1100 又は脈波・コトコフ音記録計 GP -303S, PS -501 と体脂肪計 BF -101 から患者様の測定結果を採取し、データを分析後、その結果を画面に表示するとともにプリンタに出力します。

患者様を登録することができます。登録された患者様が測定したデータはデータベースに蓄積いたします。このデータは必要に応じて表示することができます。登録された患者様の日々の健康管理に役立たせることができます。また、登録していない患者様は非登録の患者様として一時的に測定分析することができます。計測を行った直後であれば、非登録の患者様を登録することができます。

(注：非登録者の場合、過去のデータ表示やバイオリズムなど一部表示されません。)



生活習慣病管理支援システムの構成例

本システムは以下の環境が必要です。

パソコン OS	: Windows7 (Windows7 Home Premium 以上)
日本語入力機能	: Microsoft IME 10.1 以上
ブラウザ	: Internet Explorer 6.0 以上
CPU	: Pentium 300MHz 以上(推奨)
画面解像度	: 800 × 600 または 1024 × 768
メモリ	: Windows の推奨メモリに従ってください
ハードディスク容量	: 2.0GB 以上(推奨)
	インストールには 40MB の HDD 容量が必要です。
シリアルポート数	: 2 (推奨)
USB ポート数	: 1 (PS-501 使用時に必要)

重要 作業の際は "プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です"等のユーザーアカウント制御のダイアログボックスが表示されることがあります。内容を確認の上、画面のアナウンスにそってそのまま作業を続けてください。

2.概要

2.1. インストールの準備

生活習慣病管理支援システムV4のソフトウェアの据え付けを行う際に、事前に用意すべきものを下記に列挙します。

	新規	名称	図番	数量
1		ソフトウェア据え付けマニュアル(本書)	DRD-YIN-000682	1
2		操作説明書	DRD-YOP-000259	1
3		管理者向けツール操作説明書	DRD-YOP-000260	1
4		ソフトインストール用 CD-ROM	DRD-SMM-000258	1
5		USB 用 HASP プロテクト解除キー	HASP HL	1
6	1	USB メモリ等		1
7	1	未使用の3.5インチフロッピーディスク		4
8		筆記用具		1

凡例： : 必ず必要であるもの

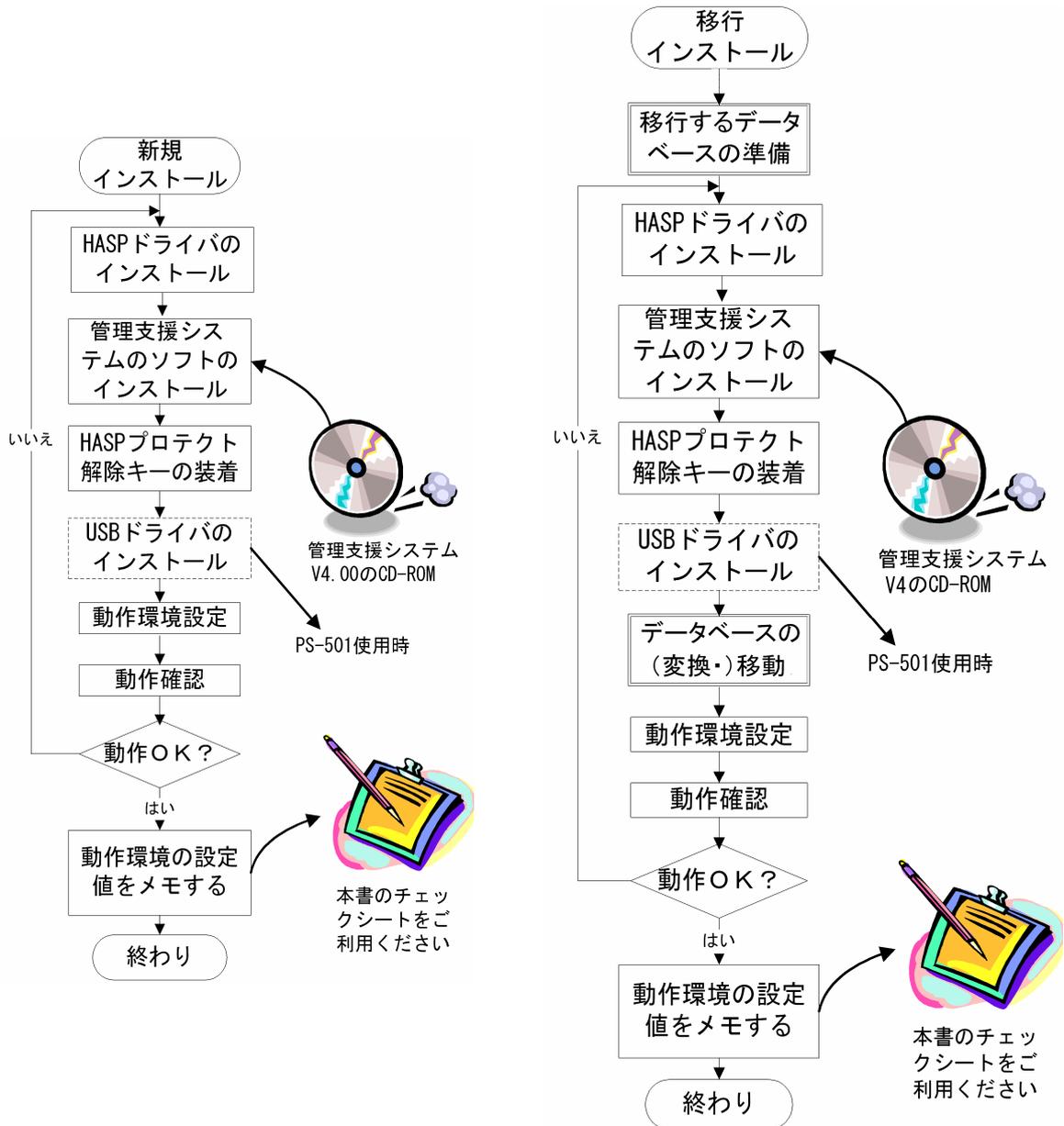
1 : いずれかが必要であるもの

2.2. HASP プロテクト解除キー

- ・USBポートに取り付けるタイプ(HASP HL)

2.3. インストールの流れ

インストールには大きく新規インストールと移行インストールがあります。
生活習慣病管理支援システムを以前からご使用されている方は、移行インストールを行えば以前のデータベースを変わらずご利用いただけます。



2.4. インストールに際しての注意事項

本書は、IBM PC/AT 互換機のパソコン（以下、DOS/V パソコン）を前提に記述されています。

3.新規インストール

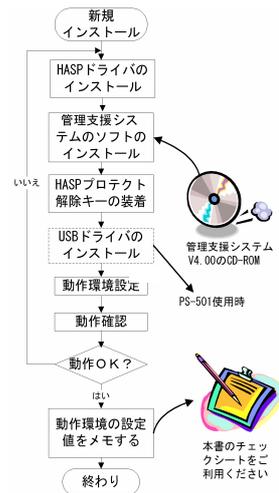
新規に生活習慣病管理支援システムをインストールする際には、右の流れ図に沿ってソフトウェアの据え付け作業を行います。

- 生活習慣病管理支援システム V4.3 が格納されている CD-ROM をドライブにセットし、HASP ドライバをインストールする
- 生活習慣病管理支援システムのソフトをインストールする
- HASP プロテクト解除キーをパソコンに装着する
- 生活習慣病管理支援システムの動作環境を設定する
- 添付チェックリストに従って、据え付け後の動作確認を実施する

動作確認が終了したら、動作環境の設定値をメモする

生活習慣病管理支援システムをご利用するには、プログラムのセットアップと HASP ドライバのセットアップが必要です。

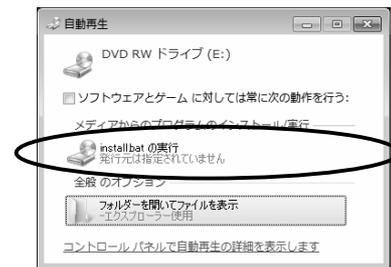
セットアップを行うには生活習慣病管理支援システムのセットアップ用 CD-ROM が必要です。



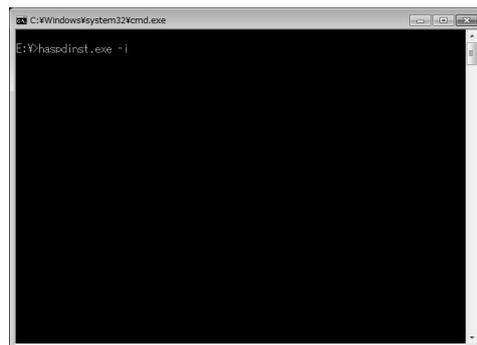
3.1. HASPドライバのインストール ()

- (1) CD-ROM をドライブにセットすると右記の画面が表示されます。
“install.bat の実行” をクリックします。

ヒント パソコンの設定によってはこの画面は表示されないことがあります。



- (2) 右記の画面が表示され、インストールの準備が始まります。



- (3) 右記の画面が表示されます。
「はい」ボタンを押してください

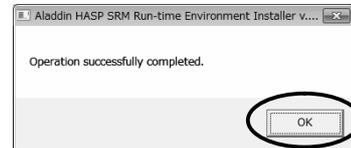
ヒント パソコンの設定によってはこの画面は表示されないことがあります。



- (4) 右記の画面が表示されるとインストールが開始されています。しばらくお待ちください。

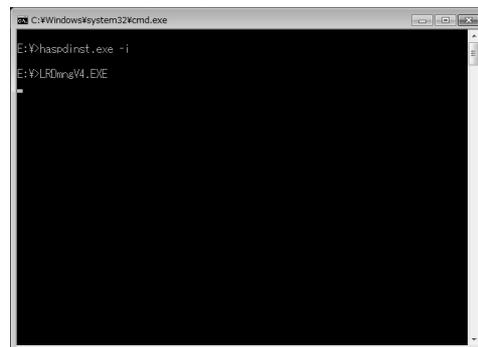


- (5) 右記の画面が表示されたら HASP ドライバのインストールは完了です。「OK」ボタンを押してください。



3.2. 生活習慣病管理支援システムソフトのインストール ()

- (1) HASP ドライバのインストール終了後に右記の画面が表示されます。



- (2) 右記の画面が表示された場合は「はい」ボタンを押してください。



 **ヒント** パソコンの設定によってはこの画面が表示されないことがあります。

- (3) 右記の画面が表示され、インストールするファイルの準備が始まります。



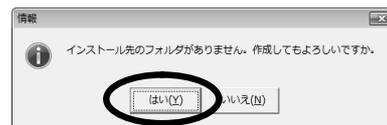
- (4) 右記の画面が表示されますので「次へ」ボタンを押してください。



- (5) 右記の画面が表示されます。標準では「c:\生活習慣病管理支援システム V4」フォルダにインストールされます。必要がない限りインストール先のフォルダを変更せずに「次へ」ボタンを押してください。



- (6) 再インストールでない場合は、右記の画面が表示されます。「はい」ボタンを押して、インストールするフォルダを作成してください。



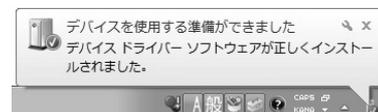
- (7) 右記の画面が表示され、インストールが開始されます。



- (8) 右記の画面が表示されたらインストールは完了です。「完了」ボタンを押してください。



- (9) HASP HL を USB ポートに差し込むと、右記の画面が右端に表示され使用可能となります。



重要  HASP キーは、HASP ドライバと新健康管理システムソフトのインストールが終了してからパソコンに装着してください。

重要  PS-501 と接続して使用する場合は、CD-ROM をパソコンに入れたままで次ページの“3.3.FTDI ドライバのインストール (PS-501 使用時)”に進んでください。

3.3. FTDI ドライバのインストール (PS-501 使用時)

Windows7 では通常、PS-501 との USB 接続での通信に必要な FTDI ドライバをインターネットや CD-ROM から自動的に見つけてインストールを行います。しかしパソコンの環境や処理状態によっては、インストールがうまくできない場合があります。そこで、以下の手順で、インストールの確認と、インストールされていない場合はインストール処理を同時に行います。

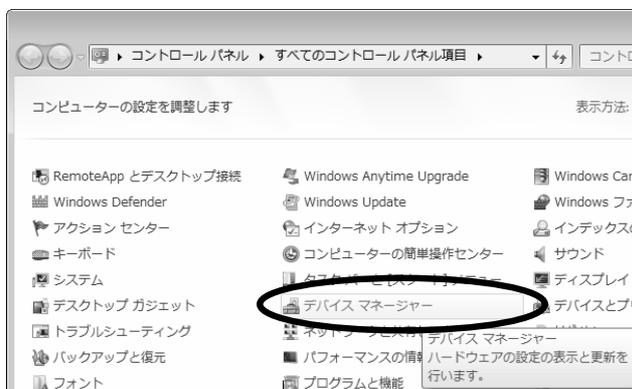
- (1) PS-501 に USB ケーブルを接続し、PS-501 の電源を入れた状態でパソコンの USB 端子に PS-501 からの USB ケーブルを接続し、1～2 分ほど放置します。その後 Windows のスタートボタンから [コントロールパネル] を選びます。



- (2) 表示された画面に「ハードウェアとサウンド」がある場合は「ハードウェアとサウンド」をクリックし、さらに表示された画面で「デバイスマネージャー」をクリックします。

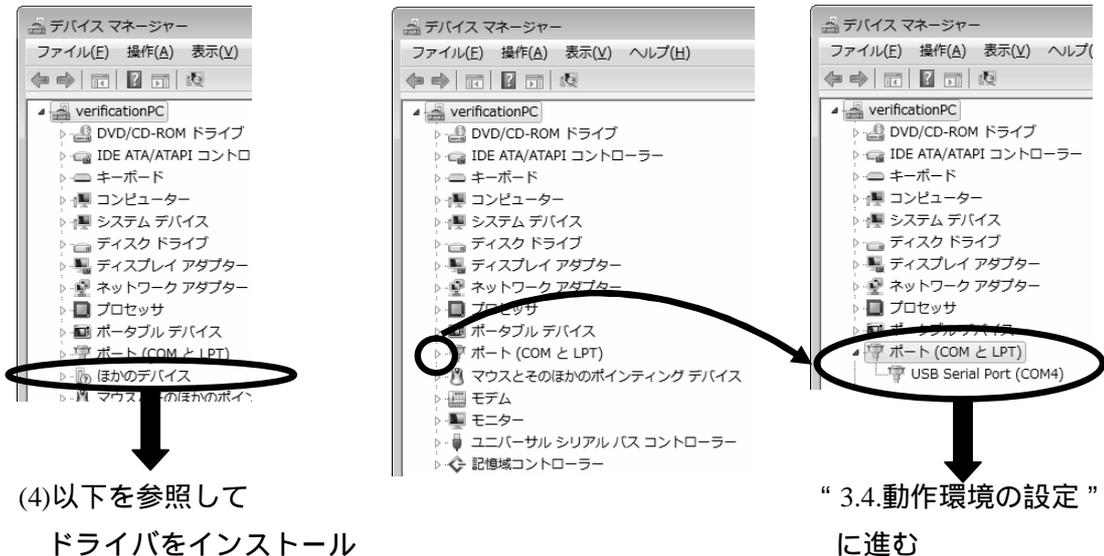


もし表示されたコントロールパネルが右記のような [すべてのコントロールパネル項目] 画面だった場合は、その画面にある「デバイスマネージャー」をクリックします。



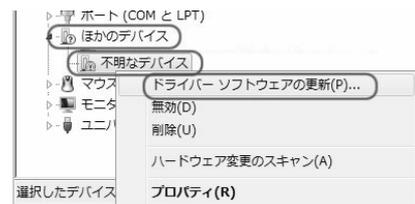
(3) デバイスマネージャーの画面に左下のように「ほかのデバイス」が表示されている場合は、(4)以下を参照してドライバのインストールを行います。

また、もし下中央のように「ほかのデバイス」が無く、「ポート (COM と LPT)」の先の「▷」をクリックし「▲」にしたときに「USB Serial Port (COM z)」【COM z の z は数字】があればそれが↑血压計のポート番号↓となるので、その z を覚えて CD-ROM をパソコンから取り出して 12 ページの “ 3.4.動作環境の設定 ” にすすんでください。



 なお、右上の画面に「USB Serial Port (COM z)」が無い場合は、一旦 PS-501 の電源を切り USB ケーブルを PS-501 側もパソコン側も一旦取り外し、再度 PS-501 電源を入れてから前ページの(1)からやり直してみてください。

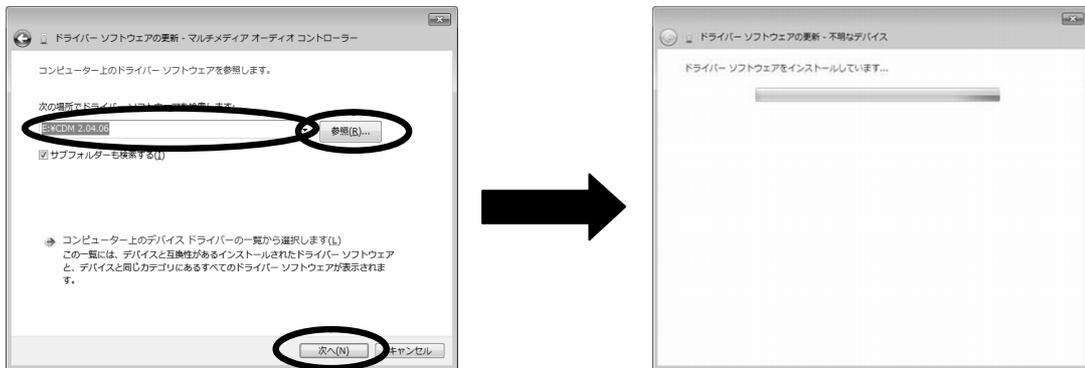
(4)(3)で表示された「ほかのデバイス」の先の「▷」をクリックして「▲」にすると「不明なデバイス」が表示されます。この「不明なデバイス」にマウスを移動させ右クリックするとメニューが表示されます。このメニューにある「ドライバーソフトウェアの更新」を左クリックして選択します。



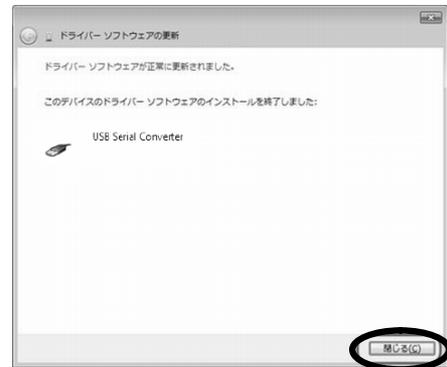
(5)右記のように、ドライバファイルの探し方を選ぶ画面が表示されます。ここでは下の「手動で検索してインストールします」を選びます。



- (6)左下のよう、ドライバファイルの場所の指定画面が表示されます。「参照」ボタンを押して CD-ROM の CDM X.XX.XX フォルダ (X は任意の英数字) を指定して「次へ」ボタンを押します。右下のよう、ドライバのインストール開始画面が表示されます。



- (7)しばらくすると、右記のような画面が表示されます。「閉じる」ボタンを押します。



- (8) FTDI ドライバは 2 回のインストールが必要なので、再度(4) ~ (6)を繰り返します。

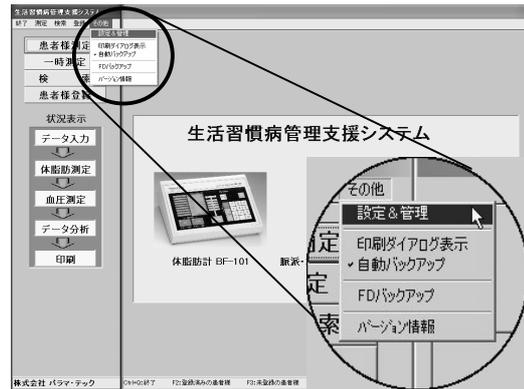
- (9)右記のような画面が表示されるとドライバのインストールは完了です。「閉じる」ボタンを押します。
インストールが完了したら、前ページの(3)に戻って「USB Serial Port (COM z)」の COM z の z を覚えて CD-ROM をパソコンから取り出し、次ページの「3.4.動作環境の設定」にすすんでください。



3.4. 動作環境の設定 ()

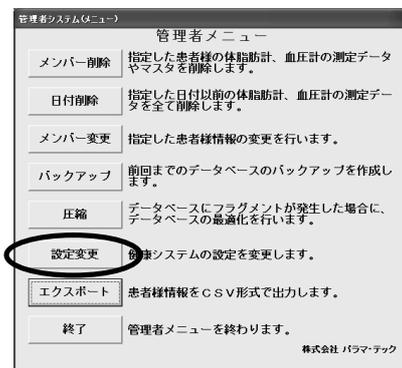
(1) 管理者システムの起動

生活習慣病管理支援システムを起動します。右画面でメニューバーより [その他] [設定 & 管理] を選択します。しばらくすると、管理者用のパスワードを入力するための確認画面が表示されます。ここで初期パスワード “ master ” と入力します。右下の管理者システム (メニュー) が表示されます。



(2) 動作環境の設定

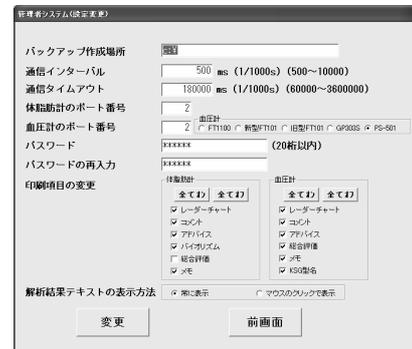
右画面で『設定変更』ボタンをクリックします。すぐに、右下の画面 (設定変更) が表示されます。



(3) 動作環境の設定

下記 4 項目を使用しているパソコン及び血圧計を正確にセットしてください。他は初期設定のままでも使用できます。他は必要に応じて変更してください。

- バックアップ作成場所 (下記参照)
- 体脂肪計のシリアルポート番号(1~3)
- 血圧計のシリアルポート番号(1~3)
- 血圧計の種類



パスワードはこの画面で変更することができます。変更したら、パスワードは忘れないように必ずメモしておいてください。また、メモの保管は厳重に願います。



バックアップ作成場所は、不都合でないかぎり初期設定の “ C:¥D Bバックアップ ” から変更しないでください。

Windows7 のファイル管理の仕様上、エラーとなる可能性があります。

(4) 設定値の記憶

設定変更画面で [変更] ボタンをクリックしてください。確認画面が表示され、[OK] をクリックすると記憶されます。

3.5. 動作確認（ ）

新健康管理システムのソフトウェアが正しく据え付けられたことを確認します。この確認には『用紙 3 新規インストール後の確認（チェックリスト）』を利用すると安心です。この確認で問題が生じた場合には、各営業所の担当者に連絡をお願いいたします。

3.6. 動作環境の設定値をメモする（ ）

動作に問題がない場合には、現在の動作環境の設定値をメモに取ることをお勧めします。この際には『用紙 1 生活習慣病管理支援システムの設定値メモ用紙』を利用すると安心です。

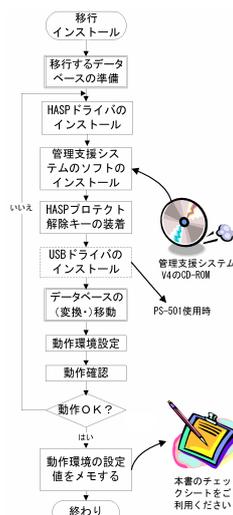
これは、何らかの原因で今お使いのパソコン或いは新健康管理システムのソフトウェアが正しく動作しなくなった場合に、この復旧作業の中で非常に大事な情報となります。この情報とフロッピーディスクにバックアップされた測定データ（血圧および体脂肪）があれば、ほぼ、バックアップされた時点の状態まで、システムを復旧させることができます。



この動作環境の設定値がない場合には、以前の状態に復帰するのに時間が必要となります。また、バックアップされた計測データがない場合には、それ以前に計測されたデータは復旧できませんので注意が必要です。

4.移行インストール

Windows7 のパソコン購入以前から生活習慣病管理支援システムをご利用されていた場合は、生活習慣病管理支援システムV4.3のインストールの後に以前の生活習慣病管理支援システムで保存していたデータベースを移行することができます。右の流れ図に沿ってソフトウェアの据え付け作業を行います。



- A. 以前の生活習慣病管理支援システムのデータベースを準備する
- B. 「3.新規インストール」の手順 ~ を実施する
- C. A. のデータベースを生活習慣病管理支援システムV4.3に移行する
- D. 「3.新規インストール」の手順 ~ を実施する

データベースを移行するには、以前の生活習慣病管理支援システムのデータを生活習慣病管理支援システムV4.3をインストールしたWindows7のパソコンに移動させる手段(USBメモリなど)が必要です。

重要 この作業の際は、別冊の「生活習慣病管理支援システムV4 管理者向け操作説明書」に記載された内容が必要となることがあります。作業の前にあらかじめご準備願います。

4.1. 以前の生活習慣病管理支援システムのデータベースを準備する (A.)

ここでは、USBメモリにデータベースをコピーする例を挙げます。

- (1) 以前の生活習慣病管理支援システムがインストールされたパソコンを起動し、デスクトップまたはスタートに登録されている生活習慣病管理支援システムのアイコンを右クリックします。

以下のようなプロパティ画面が表示されますので、この画面にある[リンク先を探す]ボタンを押します。

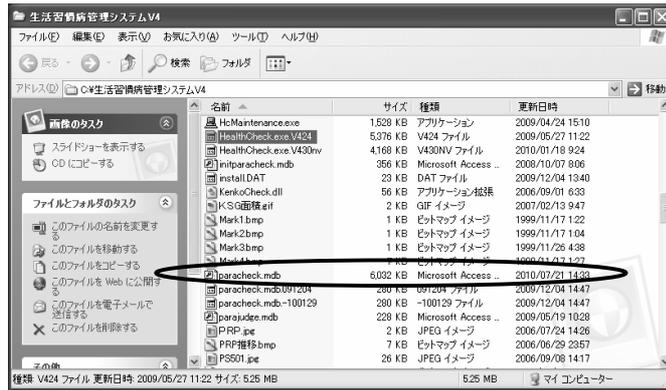
生活習慣病管理支援システムV3の例



生活習慣病管理支援システムV4の例

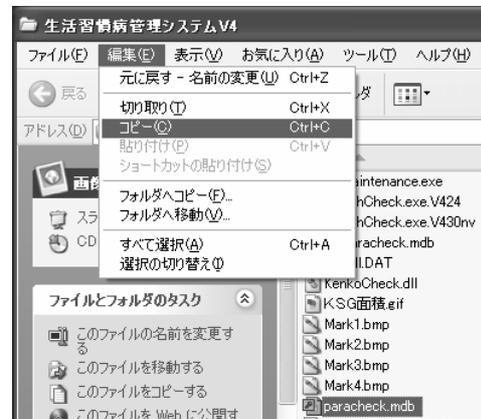


- (2) 以前の生活習慣病管理支援システムのデータベースが含まれるフォルダ内のファイルが表示されます。このファイル一覧の中から“paracheck.mdb”（または単に“paracheck”）という名前のファイルを探します。



 通常、以前の生活習慣病管理支援システムを最後に利用した頃の日時が“paracheck.mdb”（または単に“paracheck”）の更新日時になっています。

- (3) (2)で見つけた“paracheck.mdb”（または単に“paracheck”）ファイルのコピーします。“paracheck.mdb”（または単に“paracheck”）ファイルを選択したうえで、(2)の画面の“編集”メニューの中から“コピー”を選びます。



- (4) パソコンに USB メモリを接続し、割り当てられたドライブ名を確認しておきます。

- (5) Windows の [スタート] [マイコンピュータ] を選びます。

下記のような画面が表示されます。(4)で確認したドライブで右クリックし、[貼り付け] を選びます。この操作で、(3)でコピーしていたデータベースファイルが USB メモリにコピーされます。



4.2. データベースを生活習慣病管理支援システム V 4 . 3 に移行する (C .)

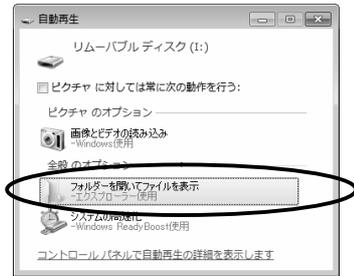
4.1.に引き続き、USB メモリからデータベースを移行する例を挙げます。

以前の生活習慣病管理支援システムのバージョンによって、手順が異なります。

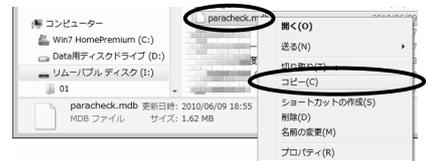
以前のシステムが生活習慣病管理支援システム V4 だった場合

以前の生活習慣病管理支援システム V4 のデータベースをそのまま新しい Windows7 の生活習慣病管理支援システム V4.3 にコピーするだけで移行できます。

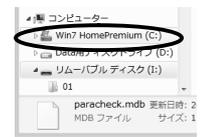
- (1)3.2. (PS-501 を利用する場合は 3.3.) まで作業をすすめた Windows7 の生活習慣病管理支援システム V4.3 インストール済みのパソコンに、4.1.でデータベースをコピーした USB メモリを接続します。右記のような画面が表示されるので、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択します。



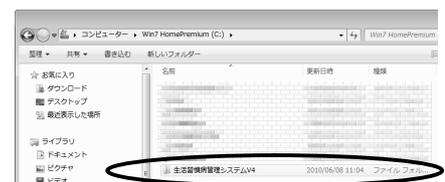
- (2)表示された画面に “ parachute.mdb ” (または単に “ parachute ”) ファイルがあることを確認し、そのファイルを右クリックします。表示されたメニューから [コピー] を選び左クリックします。



- (3)(2)の画面の左に表示されている “ コンピューター ” に表示されている生活習慣病管理支援システム V4.3 をインストールしたドライブ (変更しないかぎり C:ドライブ) を選び左クリックします。



- (4)(3)で表示させた右記の画面の右側に表示されている “ 生活習慣病管理支援システム V4 ” のフォルダを選び左クリックします。

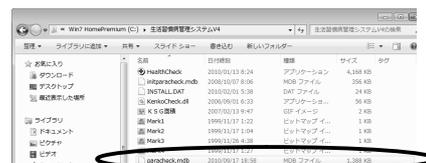


- (5)(4)で表示された画面の右画面側にマウスを移動させ、余白部分(右記の斜線部分など)で右クリックします。表示されたメニューから [貼り付け] を選び左クリックします。



- (6)(5)の画面で“ parachute.mdb (または単に“ parachute ”) ファイルがコピーされたことを確認できればデータ移行作業は終了です。

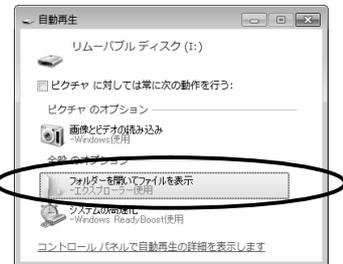
3.4.の作業にすすんだ後、3.5.で以前のシステムで保存しているデータの確認を行い移行されていることをご確認ください。



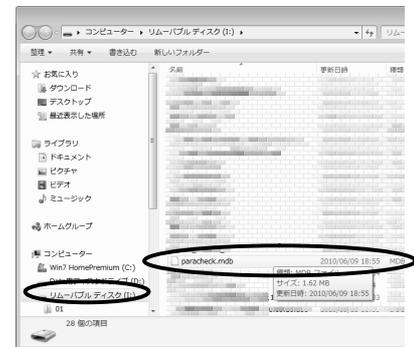
以前のシステムが生活習慣病管理支援システム V4 以外だった場合

生活習慣病管理支援システム V4 以前のシステムのデータベースは生活習慣病管理支援システム V4 ではそのまま利用できません。**必ず**生活習慣病管理支援システム V4.3 に添付しているデータ変換プログラムでデータベースを変換してご利用ください。

- (1)3.2. (PS-501 を利用する場合は 3.3.) まで作業をすすめた Windows7 の生活習慣病管理支援システム V4.3 インストール済みのパソコンに、4.1. でデータベースをコピーした USB メモリを接続します。右記のような画面が表示されるので、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択します。



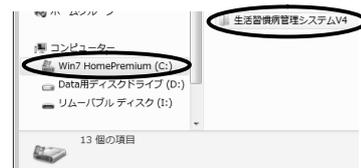
- (2)表示された画面に “ paracheck.mdb ” (または単に “ paracheck ”) ファイルがあることを確認します。



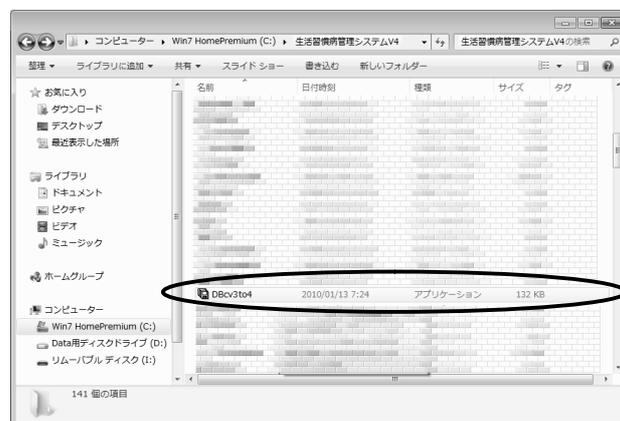
- (3)(2)の画面の左に表示されている “ コンピューター ” に表示されている生活習慣病管理支援システム V4.3 をインストールしたドライブ (変更しないかぎり C:ドライブ) を選び左クリックします。



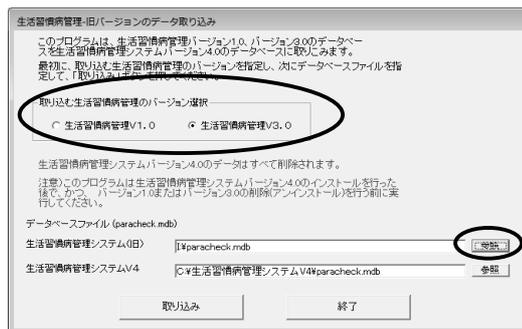
- (4)(3)で表示された画面の右画面で「生活習慣病管理支援システム V4」のフォルダを見つけ、左クリックします。



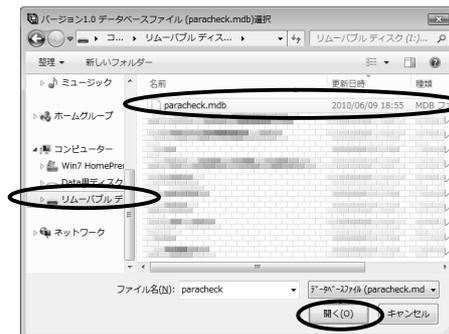
- (5)(4)で表示された画面の右画面に “ DBcv3to4 ” というプログラムを見つけ、ダブルクリックします。



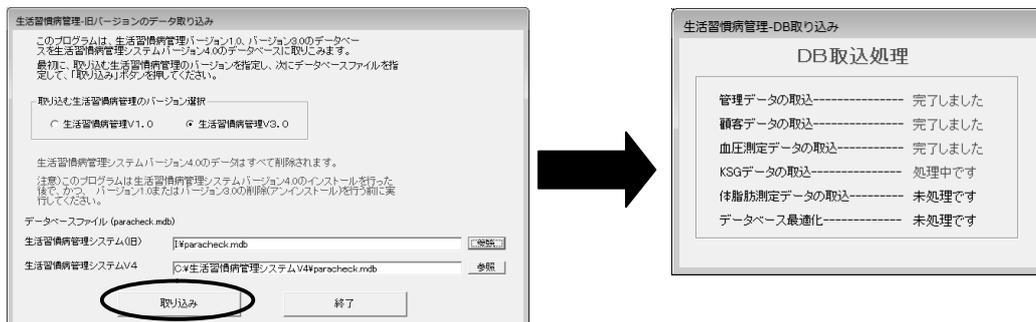
- (6)右記の画面が表示されます。
 「取り込む新健康管理のバージョン選択」
 では、“生活習慣病管理支援V3.0”を
 選択します。
 続いて、
 「生活習慣病管理システム(旧)」の
 右端にある[参照]ボタンを押します。



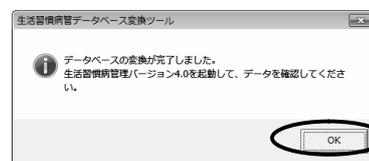
- (7)右記の画面が表示されます。
 表示された画面の左側でUSBメモリのドライブを
 選び、次いで表示された画面の右側で
 “paracheck.mdb”(または単に“paracheck”)
 ファイルがあることを確認します。
 この状態で、画面右下の[開く]ボタンを
 押します。



- (8)左下の画面が表示されたら、画面左下の[取り込み]ボタンを押します。
 右下のような画面が表示され、データの変換が行われます。



- (9)データの変換が終わると、右記のような画面が表示され
 ます。[OK]ボタンを押して、処理を終了させます。
 3.4.の作業にすすんだ後、3.5.で以前のシステムで保存し
 ているデータの確認を行い移行されていることをご確
 認ください。



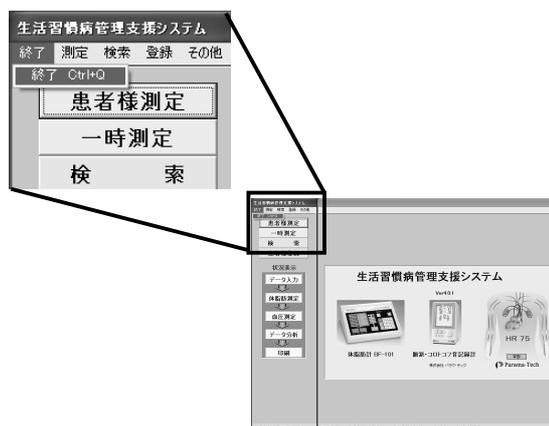
5.起動と終了

5.1. 起動方法

パソコンを起動し、メニューバーの「スタート」「プログラム」より「生活習慣病管理支援システム V4」を選択してください。生活習慣病管理支援システム V4 が起動され、最初の画面が表示されます。

5.2. 終了方法

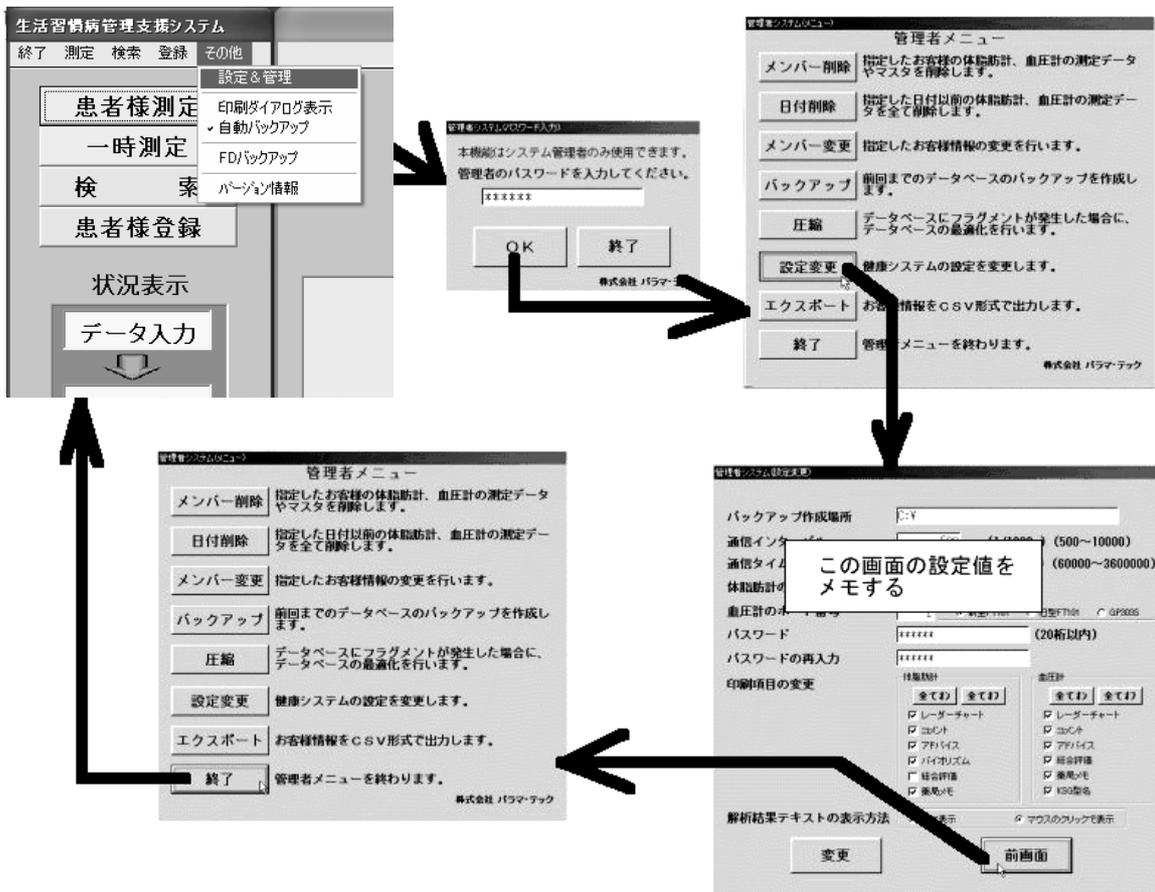
右図にある「終了」より「終了」をマウスで選択してください。生活習慣病管理支援システムが終了します。システムが終了したら、パソコンの操作マニュアルに従い、パソコンを終了させてください。



付録 1（動作環境と動作の確認）

1.1.バージョンアップ前後の動作環境設定値のチェック手順

下図に従って、バージョンアップ前に生活習慣病管理支援システムの現在の設定値をメモします。この情報をバージョンアップ後のシステムに設定します。こうすることで、バージョンアップ前後での動作をほぼ同一にすることができます。この時の設定値は次ページをコピーしたものにメモしておく便利です。



2.2.設定値メモ用紙，チェックリスト，問い合わせ票

この据え付けマニュアルで使用する用紙を次ページ以降添付します。必要に応じてコピーして使用してください。

- 動作環境の設定値のメモ用紙・・・・・・・・・・・・・・用紙 1
- バージョンアップ前の確認（チェックリスト）・・・・用紙 2
- 新規インストール後の確認（チェックリスト）・・・・用紙 3
- バージョンアップ後の確認（チェックリスト）・・・・用紙 4
- トラブル問い合わせせよ票・・・・・・・・・・・・・・用紙 5

付録 2：生活習慣病管理支援システムの削除方法

アップグレードなどの理由で生活習慣病管理支援システムを削除したい場合は、次の手順に従って削除（アンインストール）してください。



警告 削除されたデータは復活できませんので、十分に注意してください。



注意 削除されたプログラムを再度利用するには、本書に従って再インストールしてください。

- (1) Windows の [スタート] を押し、コントロールパネルを選びます。



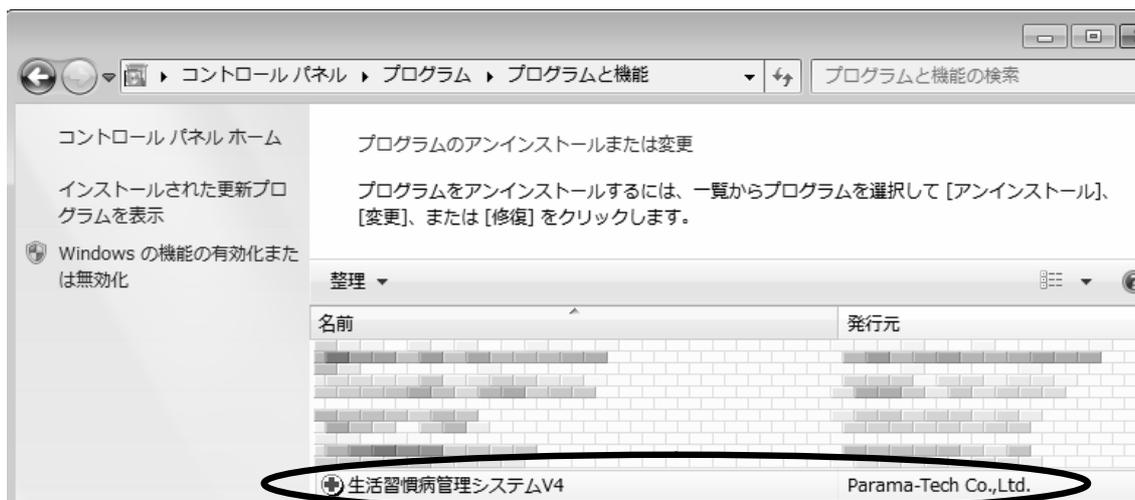
- (2) 表示された画面に「プログラム」がある場合は「プログラム」をクリックし、さらに表示された画面で「デバイスマネージャー」をクリックします。



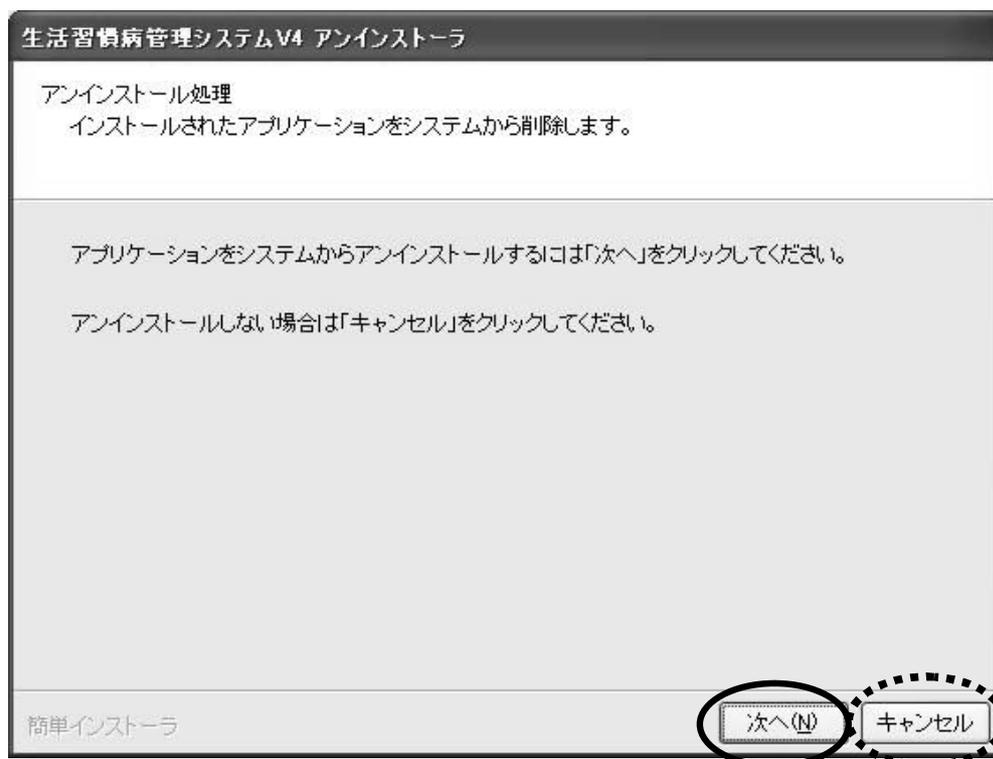
もし表示されたコントロールパネルが右記のような [すべてのコントロールパネル項目] 画面だった場合は、その画面にある「プログラムと機能」をクリックします。



- (3) 下記のような画面が表示されるので、「生活習慣病管理支援システム V4」を選び、ダブルクリックします。



- (4) 下記の画面が表示されます。生活習慣病管理支援システムを削除してもよいことを確認の上、[次へ] のボタンを押してください。



(3)までの手順を行っても、(4)で [キャンセル] のボタンを押せば生活習慣病管理支援システムは削除されません。

用紙 1 生活習慣病管理支援システムの設定値メモ用紙

管理者システム(設定変更)

バックアップ作成場所

通信インターバル ms (1/1000s) (500~10000)

通信タイムアウト ms (1/1000s) (60000~3600000)

体脂肪計のポート番号

血压計のポート番号
 FT1100 新型FT101 旧型FT101 GP303S PS-501

パスワード (20桁以内)

パスワードの再入力

印刷項目の変更

体脂肪計	血压計
<input type="button" value="全てわ"/> <input type="button" value="全てわ"/>	<input type="button" value="全てわ"/> <input type="button" value="全てわ"/>
<input checked="" type="checkbox"/> レーダーチャート	<input checked="" type="checkbox"/> レーダーチャート
<input checked="" type="checkbox"/> コメント	<input checked="" type="checkbox"/> コメント
<input checked="" type="checkbox"/> アドバイス	<input checked="" type="checkbox"/> アドバイス
<input checked="" type="checkbox"/> バイオリズム	<input checked="" type="checkbox"/> 総合評価
<input type="checkbox"/> 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> メモ
<input checked="" type="checkbox"/> メモ	<input checked="" type="checkbox"/> KSG型名

解析結果テキストの表示方法 常に表示 マウスのクリックで表示

用紙 2 バージョンアップ前の確認 (チェックリスト)

実施日: _____ 年 月 日

番号	確認項目	結果
1	前バージョンでの生活習慣病管理支援システムの設定値のメモ	チェックした
2	FT-101 で血圧を測定する	OK / NG / NA
3	FT-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
4	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
5	GP-303S で血圧を測定する	OK / NG / NA
6	GP-303S の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
7	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
8	FT-1100 で血圧を測定する	OK / NG / NA
9	FT-1100 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
10	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
11	BF-101 で体脂肪を測定する	OK / NG / NA
12	BF-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
13	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA

OK : 動作良好

NG : 動作不良

NA : 該当せず

上表でいずれかに 印を付ける

用紙 3 新規インストール後の確認 (チェックリスト)

実施日: ____年 ____月 ____日

番号	確認項目	結果
1	FT-101 で血圧を測定する	OK / NG / NA
2	FT-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
3	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
4	GP-303S で血圧を測定する	OK / NG / NA
5	GP-303S の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
6	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
7	FT-1100 で血圧を測定する	OK / NG / NA
8	FT-1100 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
9	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
10	PS-501 で血圧を測定する	OK / NG / NA
11	PS-501 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
12	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
13	BF-101 で体脂肪を測定する	OK / NG / NA
14	BF-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
15	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA

OK : 動作良好

NG : 動作不良

NA : 該当せず

上表でいずれかに 印を付ける

用紙 4 バージョンアップ後の確認 (チェックリスト)

実施日： ____ 年 ____ 月 ____ 日

番号	確認項目	結果
1	前バージョンでの生活習慣病管理支援システムの動作環境の設定値の反映	反映した
2	過去の血圧データを検索する	OK / NG / NA
3	上記データを表示する	OK / NG / NA
4	過去の体脂肪データを検索する	OK / NG / NA
5	上記データを表示する	OK / NG / NA
6	FT-101 で血圧を測定する	OK / NG / NA
7	FT-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
8	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
9	GP-303S で血圧を測定する	OK / NG / NA
10	GP-303S の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
11	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
12	FT-1100 で血圧を測定する	OK / NG / NA
13	FT-1100 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
14	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
15	PS-501 で血圧を測定する	OK / NG / NA
16	PS-501 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
17	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA
18	BF-101 で体脂肪を測定する	OK / NG / NA
19	BF-101 の測定データを生活習慣病管理支援システムにデータを取り込む	OK / NG / NA
20	上記データを検索し, 表示する	OK / NG / NA

OK : 動作良好

NG : 動作不良

NA : 該当せず

上表でいずれかに 印を付ける

問題点について

問題発生日時	西暦 20 年 月 日 時頃
新健康管理システムのバージョン	
発生頻度	毎回 断続的 時々 1回だけ その他
問題点	
主なエラーメッセージ	
最初の発生日	西暦 20 年 月 日
発生直前に実施したことは？	血圧・体脂肪測定のみ 履歴データの検索・表示 Windows の起動のみ 新健康管理システムのバージョンアップ (V . V .) その他のプログラムのインストール ワープロ・表計算・インターネットなど その他()
最新の新健康管理システムをインストールした後にアプリケーション？	なし あり ()
据え付け直後の状態	問題なし 同様の現象が発生 その他問題有り()
その他の気になる点	

回答

回答日 : 20 年 月 日 回答者 :



株式会社 パラマ・テック

〒812-0068 福岡市東区多の津 1-7-5

TEL(092)623-0813

DRD-YIN-000683

2010.09.17